

分野	基礎分野 —人間と生活、社会の理解—	対象学年	2
		時期	前期
授業科目	哲学 Philosophy	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	非常勤講師		
科目責任者			
授業概要	1. テキストをよく読み、著者の考え（主張、意見）を理解する。 2. 課題について考え、レポートを作成し、報告する。 3. 他者の報告を聞き、報告に対する考えをまとめる。		
目標	「自分」「死」「心」など、さまざまな事柄について、自分で考えることができる。		
評価方法	出席状況、課題についてのレポート、レポートの報告 等		
使用テキスト	「14歳からの哲学」 池田晶子 トランスビュー社		
参考図書			
メッセージ	自分で考えない人は、他人の意見を鵜呑みにする。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	哲学とはどのような学問か	哲学というものについて理解する	哲学の説明	講義	次回報告の課題提示
2	さまざまな事柄について著者の考え（主張、意見、説明）をよく理解し著者の考えに対して、自分の考えをまとめられるようにする		1～3「考える」	報告 講義	同上
3			4～5「言葉」	同上	同上
4			6「自分とは誰か」 7「死をどう考えるか」	同上	同上
5			8「体の見方」 9「心はどこにある」	同上	同上
6			10「他人とは何か」	同上	同上
7			11「家族」 12「社会」 13「規則」	同上	同上
8			14「理想と現実」	同上	同上
9			15「友情と愛情」 16「恋愛と性」 17「仕事と生活」	同上	同上
10			18「品格と名誉」 19「本物と偽物」 20「メディアと書物」	同上	同上
11			21「宇宙と科学」 22「歴史と人類」	同上	同上
12			23～24「善悪」	同上	同上
13			25「自由」 26「宗教」	同上	同上
14			27～28「人生の意味」	同上	同上
15			29～30「存在の謎」	同上	同上